



LUCKY

2019.2

第49期 報告書

2018年3月1日から2019年2月28日

LUCKY

北雄ラッキー株式会社

JASDAQ:2747

株主の皆様へ

ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社
代表取締役社長

きりゆう ひろまさ
桐生 宇優



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、昨年9月に発生した北海道胆振東部地震によって被災された皆様並びに関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社は創業以来、一貫して地域のお客様に愛されるお店づくりをめざし、皆様の食卓をよりおいしく、より豊かに、より健康にという理念のもと今日まで歩んでまいりました。これはひとえにお客様をはじめとして、株主の皆様、お取引先様の暖かいご支援があったからに他なりません。改めて深く感謝申し上げます。

第49期（2018年3月1日～2019年2月28日）におきましては、わが国経済の回復局面は「いざなぎ景気」を超えて戦後最長を記録したといわれておりますが、小売りの現場では景気回復を実感できるような消費改善の手応えは乏しいものであります。

国内マーケットでは、人口減と高齢化が進むほか、単身世帯や働く女性の増加などにより消費者ニーズが多様化する一方で、人手不足の問題や人件費高騰への対応、IT技術進化への対応が求められるなど、小売・流通業を取り巻く環境は大きく変化しております。

こうしたなか、昨年は北海道胆振東部地震を含めて大きな災害が日本中で発生した一年であり、当社におきましても、昨年の震災・大規模停電で得た経験をベースとして、災害の発生した店舗・地域に対して迅速な物資対応や救援体制の

発動ができるように、緊急時体制の構築に努めております。

震災後におきましては、「シティマートくんねっぶ店」が営業している訓子府町とも「災害時における応急生活物資等の供給協力に関する協定」を締結しており、地域の安全確保や地域インフラとしての役割も担ってまいりたいと思います。

当期におきましては、企業の持続的な成長と活性化を目的として、「ラッキー岩内店」や「ラッキー菊水元町店」などの改装投資を行い、徹底した商品力の強化及び販売力の強化に努めてまいりましたが、電気・ガス料金及び食品の値上げによる節約意識の強まりに加えて、震災発生に伴う特別損失の計上などにより、業績は減収減益でありました。

翌期においては、皇位継承・元号改定・五輪準備がビジネスチャンスとなるものの、10月には消費税増税が予定されるなど、米中貿易摩擦の影響などの外的要因を含めて、厳しい経営環境が続くものと思われませんが、物事をチャンスへと変換できるよう臨機応変の対応に努めてまいります。

お客様のニーズも多種多様となり「モノ消費」から「コト消費」への対応も求められており、メインターゲットである女性のお客様を意識した販売・マーケティング戦略によって、お買物を通して私たちの「価値」や「想い」をお客様にお伝えできるような商品提案やサービスに努めてまいります。

これからも時代や社会の変化にいち早く対応し、お客様のニーズにも的確にお応えできる企業を目指し、役職者一同が最大限の努力をしまいる所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

店舗網

(2019年2月末現在)

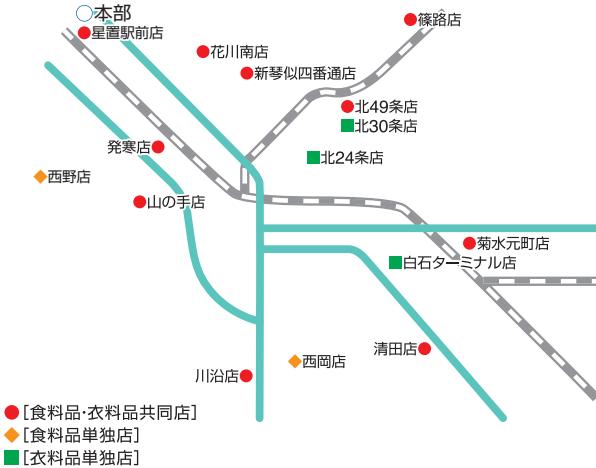
営業店舗合計 **34**店
 食料品・衣料品共同店 22店
 食料品単独店 5店
 衣料品単独店 7店

ラッキーマート幌向店
 栗山店
 長沼店
 手宮店・朝里店
 岩内店
 倶知安店
 千歳錦町店

シティわかかない店
 シティもんべつ店
 シティマートなかゆうべつ店
 シティえんがる店
 シティびほろ店
 シティあばしり店
 シティマートめまねべつ店
 シティマートくんねつべつ店
 札幌市

ひとみ店・美原店

札幌市近郊店舗分布



- [食料品・衣料品共同店]
- ◆ [食料品単独店]
- [衣料品単独店]
- 本 部 〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号 ☎011-558-7000
- デリカセンター 北海道小樽市銭函3丁目193-1 ☎0134-62-1717
- シティデリカセンター 北海道網走郡美幌町宇青山北53-3 ☎0152-75-2060
- 生鮮センター 札幌市中央区北12条西19丁目36-168 ☎011-623-0570
- 低温センター 札幌市中央区北12条西19丁目36-168 ☎011-643-4511
- 物流センター 北海道石狩市新港西3丁目700 ☎0133-75-8877

1971年4月、食品の小売および卸売を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。1974年5月、商号を株式会社山の手ストアと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、1982年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、2005年10月には道北の稚内市、2008年9月には後志地方の岩内町、2011年11月には道南地区の函館市へと営業エリアを広げ、2019年2月末現在、全道各地に34店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客様に感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一步先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けていきます。



「ナチュラルラッキー& テイスティラッキー」ラッキーらしさの商品コンセプト

お客様にとって最大の関心事である「食」の「健康と安心」の面において、当社が自信を持っておすすめしているのが「ナチュラルラッキー」の商品コンセプトです。お客様の健康増進や病気予防に役立つよう、有機野菜、特別栽培野菜、無添加商品などを展開しております。また、もうひとつの商品コンセプトである「テイスティラッキー」は、「おいしさ」と「品質」で、家族みんなが揃うお祝いの日やお誕生日などで、みんなに満足していただける商品です。

健康で安心な毎日の食生活のために。
NATURAL LUCKY ナチュラルラッキー



えごま一番



無添加加工
天然熟成塩紅さけ



新篠津産
特別栽培
玉ねぎ

おいしいものをどどん食卓に。
TASTY LUCKY テイスティラッキー



暑寒の種
十割麹



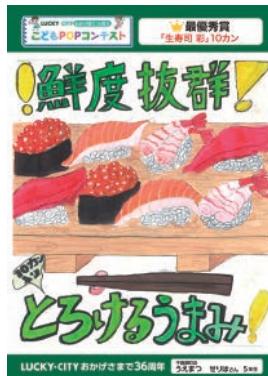
マルマ三ヶ日
みかん



ホテルブレッド

「こどもPOPコンテスト」開催

当社設立30周年記念企画として開催し、今回で7回目となる「こどもPOPコンテスト」を実施いたしました。今年の応募作品も食材に対する素直で純粋な気持ちがとても良く伝わってくる力作揃いでありました。食材の持つ美味しさが際立ってくるような、こども目線で描かれた作品は、見ているだけで楽しくなります。当社といたしましては、この企画を最終的な目的である「社会貢献」、「地域貢献」につながるよう、取り組みの継続と積極的な広報活動に努めてまいります。



最優秀賞「生寿司 彩」10カン



優秀賞「マルマ三ヶ日みかん」

お財布スッキリ!「電子レシートサービス」導入



電子レシートサービス「スマートレシート」のご案内ポスターです。

当社では、2018年6月19日より、紙のレシートそのものを電子化してご提供する電子レシートサービス「スマートレシート」を道内初導入しております。本サービスは、ラッキーCoGCaカードとの連携によって、通常紙として提供されるお買上商品の明細レシートをお客様ご自身のスマートフォン画面で、すぐにデータとして内容確認ができるシステムです。これにより、レシートの紙資源節約のほか、お客様のお財布スッキリと家計簿管理の効率化(13か月間のお買物履歴保管)などが期待できます。



実際のスマートフォンの画面表示です。

北海道胆振東部地震と大規模停電の発生!



地震発生当日の仮設営業の様子です。

2018年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震は、北海道がかつて経験したことがない「震度7」を観測し、各地に甚大な被害をもたらしましたが、当社におきましては、人的被害はありませんでしたが、計18箇所の店舗・施設において設備及び什器等に被害が発生、また地震に伴う大規模停電によって商品廃棄が必要となりました。地震発生後の数日間は停電や物流停滞のため、全店舗において通常営業は困難となりましたが、地震発生当日よりできる範囲内での仮設営業を実施いたしました。



地震発生当日の仮設営業の様子です。

■「ラッキー岩内店」の改装

2018年4月に岩内郡岩内町の「ラッキー岩内店」の改装を行いました。今回の改装は同店が2008年9月に開店して以来、初めてとなり、「鮮度・品質・品揃えの地域一番店として、快適で楽しい買物空間の提供」を改装コンセプトとして、惣菜売場・ベーカリー売場を一新したほか、お客様の快適なお買物のためにイートインスペースを新たに設けております。また、港町岩内にある同店には地元漁港はもとより、積丹の海で獲れた新鮮な魚介類が集まるため、ラッキー全店でもトップレベルの魅力溢れる鮮魚売場が自慢となっております。



開店直後のお客様の行列です。



岩内漁港直送の新鮮な魚が豊富に並んでいます。

■「ラッキー菊水元町店」の改装



出来立てのおいしい寿司が並んでいます。

2018年6月に札幌市白石区の「ラッキー菊水元町店」の改装を行いました。1979年4月に開店した同店は、当社の店舗では5番目に長い歴史の店舗であります。今回の改装では、「便利で食べる楽しさが溢れる、地域になくてはならないお店」を改装コンセプトとして、簡便性や即食性の強化に取組み、ベーカリー売場と惣菜売場を中心とするリニューアルを実施いたしました。ベーカリーと惣菜の出来立てのおいしさ提供と鮮度に特化した野菜・鮮魚・精肉の提供によって「街のキッチン」としての役割を担ってまいります。

北雄ラッキーは「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地球温暖化防止(二酸化炭素の削減)をはじめとする環境問題に積極的に取り組み、従業員一人ひとりが身近で出来ることから、着実に実践し積み重ねることで、地域のスーパーマーケットとして、地球や人にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

■地域のスーパーマーケットとして

当社では、2018年4月23日ラッキー各店舗におきまして、全従業員で店舗周辺地域のゴミ拾いを実施いたしました。毎年春と秋の2回行っている恒例の清掃活動ですが、いつも地域のお客様と共にあり続けたいというスーパーマーケットとしての思いが、従業員にも浸透し長く続いている環境活動となっております。



店舗周辺地域のゴミ拾いを行っています。



河川敷のゴミ拾いを行っています。

■レジ袋の販売代金は「みどりところの基金」へ



LUCKY 北雄ラッキー株式会社



「みどりところの基金」のポスターです。

レジ袋は海洋プラスチック汚染や資源リサイクルの問題で、とくく悪者扱いされがちな品物ですが、当社では2008年10月より食品レジにおけるレジ袋の無償配布を中止し、有償で販売しております。その販売代金は、全額を「CGC北海道みどりところの基金」へ寄付し、北海道の高校生への「奨学金給付事業」や豊かな森を再生するための「森づくり事業」へと役立てております。

当期の概況

●営業の状況

当事業年度におけるわが国経済は、台風や地震等の自然災害が相次いで発生したものの、依然として企業業績は改善傾向を維持しており、雇用環境も着実に改善していることから、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外経済においては、不安定な欧州情勢や米中貿易摩擦の拡大など、不透明要因が懸念される状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、ドラッグストアやネット通販など業種の垣根を越えた競争が激しさを増すなか、低価格志向を含めたお客様の多種多様な購買嗜好への対応及び少子高齢化による市場縮小への対応力が求められており、更には、労働需給の逼迫及び最低賃金改定による人件費上昇への対処が喫緊の課題となっており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

当社は、このような消費停滞や競争激化といった状況に対処するため、「商品力」、「現場力」、「マーケティング力」の強化に最大限傾注することを営業方針として取り組んでまいりました。そして、当社はお客様が求める、价格的にも品質的にも多様化するニーズに対応することで、お客様からの支持拡大と信頼確保に努めてまいりました。

商品政策の面では、「商品力の強化」として、①おいしさを提供するテイスティラッキー商品、②健康と安心を提供するナチュラルラッキー商品、③地元の商品、④即食・簡便商品、⑤顧客ニーズに対応する適量商品及び⑥集客に重要なパワープライス商品をMD要素とするラッキー100カテゴリー（強化カテゴリー）の構築により、北海道No.1商品力の確立を目指してまいりました。

販売政策の面では、「現場力の強化」として、店長主体による「個店経営」を目的とする、現場判断により迅速かつ適切に物事に対処

できる店長及びチーフの強化育成に取り組んでまいりました。「マーケティング力の強化」としては、ID-POS活用によるお客様が求める商品・情報の提供及びお客様に共感していただける商品の提供により、お客様との接点を深めることに努めてまいりました。顧客サービスにおいては、電子マネー機能付ポイントカード「コジカカード」利用者を対象とした販促活動及びクーポン販促の強化などにより、「コジカカード」売上構成比は前事業年度比1.9%増となりました。

店舗業務においては、作業スケジュール表、作業指示書、時間帯別管理基準等の整備や実施徹底に加えて、店舗商品在庫の適正化による非効率作業の削減に努めたことにより、労働生産性は前事業年度比0.5%増となりました。

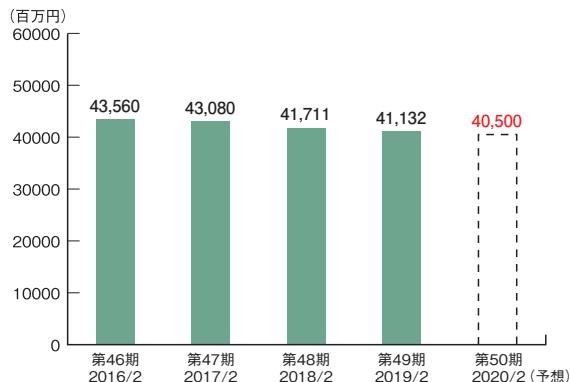
システム管理の面では、3月に新基幹システムの導入を行い、同時に商取引のEDI化も推進し、受発注から請求支払までの取引業務の自動化により、受発注業務の効率化が進みました。

経費管理面におきましては、最低時給上昇による人件費の増加や原油高の影響から水道光熱費などが増加いたしました。消耗品の削減及びチラシ販促見直しなどによる広告宣伝費の減少もあり、販売費及び一般管理費は前事業年度比0.8%減となりました。

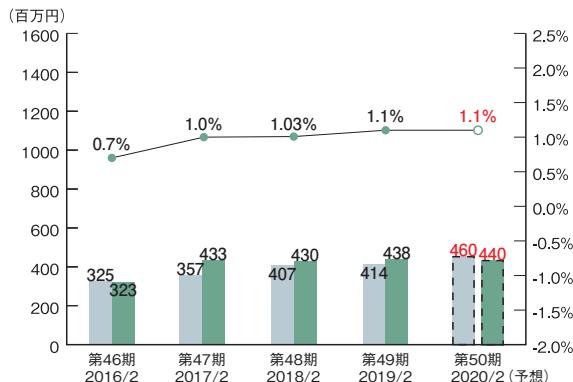
なお、2018年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震及び大規模停電等に伴う特別損失として1億77百万円を計上しております。その内訳は、商品の廃棄、ゴミ処理費用及び店舗什器等の修繕費用であります。

これらの結果、当事業年度の売上高は411億32百万円（前事業年度比1.4%減）、営業利益は4億14百万円（同1.8%増）、経常利益は4億38百万円（同1.9%増）、当期純利益は1億8百万円（同33.9%減）となりました。

■ 売上高の推移と予想（第46期～第49期実績と第50期予想）



■ 営業利益の推移と予想（第46期～第49期実績と第50期予想）



●次期の見通し

今後の見通しにつきましては、新天皇即位及び新元号への改元に伴う祝賀ムードや消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあり、消費動向は緩やかな持ち直し基調が続くものと思われませんが、後半は増税後の反動減に加えて、東京オリンピック特需の一巡などにより堅調な設備投資も減速する可能性が高く、消費停滞とともに景気の後退が予想されます。また、世界経済においては、米中貿易摩擦の影響の顕在化及び中国経済の減速などが、日本企業の輸出に対する下押し圧力となり、地政学的リスクの存続を含めて海外経済においても不透明状況が続くものと予想されます。

スーパーマーケット業界におきましては、先行き不透明感もたらず節約志向により個人消費の力強さが欠けた環境の下、オーバーストア・業態間競争の激化、宅配事業のシェア拡大及び企業の淘汰・再編が加速するものと予想されます。また一方で、消費者の少子高齢化の進行、ライフスタイルの変化及び嗜好の多様化などに伴う様々な顧客ニーズへの対応に加えて、人材不足の深刻化及び人件費高騰による企業経営に対するマイナス影響拡大の中での、働き方改革実施への対応も求められており、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われれます。

このような厳しい経営環境の中、当社はお客様が求める价格的にも品質的にも多様化するニーズに対応するために、「商品力」、「現場力」、「マーケティング力」の強化に最大限傾注することを営業方針として取組んでまいります。

そして、価値のある商品の提供によって、当社の商品や接客・サービスに対するイメージを全てのお客様に共有していただけるよう「ラッキーブランド」の形成に取組んでまいります。お客様に当社の価値や想いを共有していただき、お客様との信頼や共感を強

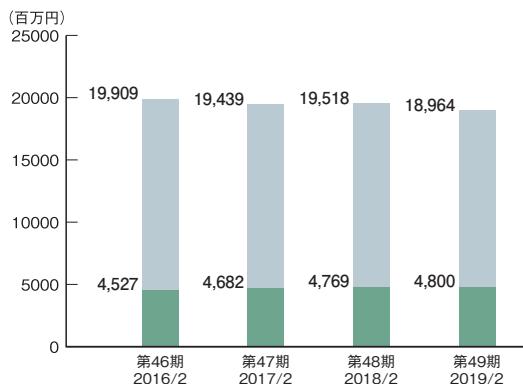
固に築き上げて、企業価値の向上に努めてまいります。

当社はこうした数ある課題を着実に実施していくことにより、厳しい経営環境にあるなか、競争力のある企業、お客様から愛される企業の構築に向けて取組んでまいり所存であります。

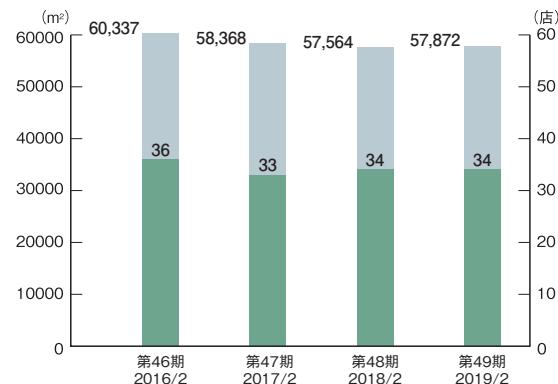
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績予想につきましては、投資計画として、2019年4月に「ラッキー西岡店」の改装、同年12月に小樽市銭函に外国人実習生用の宿舎建設を予定しておりますが、消費回復の不透明な状況及び競合激化の環境も考慮し、売上高405億円（前事業年度比1.5%減）、営業利益4億60百万円（同11.0%増）、経常利益4億40百万円（同0.3%増）、当期純利益2億40百万円（同120.9%増）を見込んでおります。

■ 総資産の推移（第46期～第49期実績 4期分）
■ 純資産の推移（第46期～第49期実績 4期分）



■ 期中平均売場面積の推移
■ 期末店舗数の推移



財務諸表

●貸借対照表

単位:千円

科目	前期	当期
	2018年2月28日 現在	2019年2月28日 現在
〈資産の部〉		
流動資産	5,004,445	4,960,035
現金及び預金	1,680,209	1,747,766
売掛金	737,293	770,888
商品及び製品	1,784,951	1,703,074
原材料及び貯蔵品	93,777	65,647
前払費用	108,839	104,435
繰延税金資産	73,911	71,996
未収入金	446,858	439,735
その他	79,336	57,225
貸倒引当金	△734	△734
固定資産	14,502,064	13,996,358
有形固定資産	11,821,606	11,389,051
建物	3,921,564	3,663,266
構築物	156,758	137,928
機械及び装置	199	159
車輛運搬具	72	1,445
工具、器具及び備品	80,627	63,059
土地	7,222,016	7,222,022
リース資産	440,367	301,169
無形固定資産	77,018	107,309
ソフトウェア	42,562	89,080
ソフトウェア仮勘定	16,227	—
電話加入権	18,228	18,228
投資その他の資産	2,603,438	2,499,997
投資有価証券	238,945	220,579
繰延税金資産	373,940	383,964
差入保証金	1,848,741	1,787,326
その他	141,810	108,126
繰延資産	11,512	7,656
社債発行費	11,512	7,656
資産合計	19,518,021	18,964,050

単位:千円

科目	前期	当期
	2018年2月28日 現在	2019年2月28日 現在
〈負債の部〉		
流動負債	10,323,858	10,106,011
買掛金	2,604,196	2,503,655
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
短期借入金	4,550,000	4,650,000
1年内返済予定の長期借入金	1,316,434	1,123,250
リース債務	262,995	189,235
未払金	341,391	351,835
未払費用	278,036	292,793
未払法人税等	142,565	73,376
未払消費税等	68,137	110,750
前受金	21,233	21,049
預り金	497,554	545,495
賞与引当金	110,088	112,950
ポイント引当金	31,224	31,619
固定負債	4,425,006	4,057,118
社債	750,000	650,000
長期借入金	1,976,161	1,816,799
リース債務	331,206	228,213
退職給付引当金	893,663	889,295
役員退職慰労引当金	101,021	108,946
長期預り保証金	310,220	300,441
資産除去債務	60,711	61,547
その他	2,022	1,876
負債合計	14,748,864	14,163,130
〈純資産の部〉		
株主資本	4,713,650	4,759,030
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	351,215	351,215
利益剰余金	3,722,248	3,767,680
自己株式	△1,621	△1,672
評価・換算差額等	55,506	41,889
その他有価証券評価差額金	55,506	41,889
純資産合計	4,769,157	4,800,920
負債・純資産合計	19,518,021	18,964,050

● 損益計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	2017年3月1日～ 2018年2月28日	2018年3月1日～ 2019年2月28日
売上高	41,711,830	41,132,677
売上原価	31,136,244	30,495,288
売上総利益	10,604,063	10,555,512
営業収入	1,195,770	1,157,697
営業総利益	11,799,834	11,713,210
販売費及び一般管理費	11,392,653	11,298,716
営業利益	407,180	414,493
営業外収益	86,336	75,070
営業外費用	63,148	50,854
経常利益	430,368	438,709
特別損失	174,608	258,369
税引前当期純利益	255,759	180,339
法人税、住民税及び事業税	137,423	75,067
法人税等調整額	△46,108	△3,360
当期純利益	164,444	108,633

● 剰余金処分

期末配当に関する事項

- (1) 配当財産の種類 金銭といたします。
 (2) 配当財産の割当に関する事項及びその総額
 普通株式 1株につき金50円 配当総額 63,201,500円
 (3) 剰余金の配当が効力を生じる日 2019年5月28日

(参考)

1. 当期における配当性向 58.2%

2. 1株当たり配当金の推移(期末時)

2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
10.0円	10.0円	10.0円	10.0円	50.0円

*当社は2018年9月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

● キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	当期
	2018年3月1日～2019年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	783,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△667,710
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	67,556
現金及び現金同等物の期首残高	450,209
現金及び現金同等物の期末残高	517,766

● 株主資本等変動計算書

当期(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

単位:千円

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金 別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計					
2018年3月1日残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	1,257,248	3,722,248	△1,621	4,713,650	55,506	55,506	4,769,157
当期変動額												
剰余金の配当						△63,202	△63,202		△63,202			△63,202
当期純利益						108,633	108,633		108,633			108,633
自己株式の取得								△51	△51			△51
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										△13,617	△13,617	△13,617
当期変動額合計	—	—	—	—	—	45,431	45,431	△51	45,380	△13,617	△13,617	31,762
2019年2月28日残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	1,302,680	3,767,680	△1,672	4,759,030	41,889	41,889	4,800,920

売上・設備の状況

●商品別売上高の推移と直近構成比の状況

○売上高の概要

当事業年度の売上高は、前事業年度と比較し1.4%減の411億32百万円となりました。

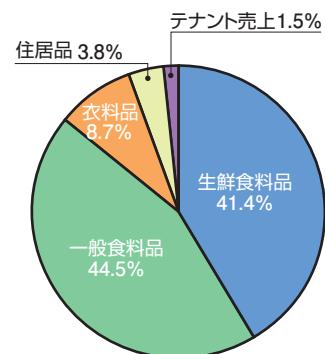
競合店対策や店舗活性化を目的としてミニ改装を含めると計5店舗の改装を実施し、チラシ販促の見直しや日曜日の販促強化及び価格訴求などにより集客や売上確保に努めましたが、台風・豪雨・地震等の自然災害の影響や電気・ガス料金等の値上げ及び日用食料品の値上げが相次いだことによる消費者節約志向の高まりなどもあり、売上高は前事業年度を下回りました。また、既存店ベースでは、客単価は前事業年度比100.9%でありましたが、客数が同97.0%であったため、既存店売上高も同97.9%でありました。

商品別売上高

単位：百万円

	第 47 期	第 48 期		第 49 期		第 50 期(予想)	
	2017/2	2018/2	前期比(%)	2019/2	前期比(%)	2020/2	前期比(%)
スーパーマーケット事業部門	43,080	41,711	96.8	41,132	98.6	40,500	98.5
生鮮食料品	17,681	17,052	96.4	17,045	100.0	17,000	99.7
一般食料品	19,069	18,575	97.4	18,321	98.6	18,100	98.8
衣料品	4,104	3,905	95.2	3,579	91.7	3,300	92.2
住居品	1,639	1,584	96.6	1,555	98.1	1,480	95.2
テナント売上	585	593	101.4	630	106.3	620	98.3
合計	43,080	41,711	96.8	41,132	98.6	40,500	98.5

第 49 期 (2019/2) 売上構成比



●設備投資の概要

設備投資につきましては、当事業年度における新設店舗及び閉鎖店舗は無く、改装店舗として2018年4月に「ラッキー岩内店」、同年6月に「ラッキー菊水元町店」の改装を実施しております。2019年2月28日現在の店舗数は34店舗であります。

設備投資の推移

単位：百万円

	第 47 期	第 48 期		第 49 期		第 50 期 (予想)	
	2017/2	2018/2	前期比(%)	2019/2	前期比(%)	2020/2	前期比(%)
投資金額合計	521	684	131.4	242	35.4	370	152.5
新店投資	25	362	1,407.2	—	—	—	—
既存店改装投資	78	94	120.3	63	67.4	77	122.8
その他	417	227	54.6	179	78.8	292	163.0
減価償却費	342	335	98.0	330	98.7	314	95.0
リース償却費	291	267	91.9	217	81.0	142	65.8

注 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

●店舗の状況

(1) 開店・閉店店舗数と期末平均売場面積

	第 44 期 2014/2	第 45 期 2015/2	第 46 期 2016/2	第 47 期 2017/2	第 48 期 2018/2	第 49 期 2019/2
開店						
店舗数	0	2	2	1	2	0
平均売場面積(㎡)	0	2,942	1,865	457	1,117	0
閉店						
店舗数	0	1	1	4	1	0
平均売場面積(㎡)	0	1,758	715	3,826	493	0
全店						
店舗数	34	35	36	33	34	34
期末売場面積(㎡)	58,340	59,521	60,617	57,133	57,511	57,868
期中平均売場面積(㎡)	58,474	60,240	60,337	58,368	57,564	57,872

(2) タイプ別店舗数と期末売場面積

	第 44 期 2014/2	第 45 期 2015/2	第 46 期 2016/2	第 47 期 2017/2	第 48 期 2018/2	第 49 期 2019/2
衣料品単独店						
店舗数	9	10	9	8	7	7
期末売場面積(㎡)	6,534	7,028	6,313	5,404	4,911	4,911
食料品単独店						
店舗数	4	4	5	4	6	5
期末売場面積(㎡)	4,077	4,189	5,115	4,507	5,624	4,029
食料品・衣料品共同店						
店舗数	21	21	22	21	21	22
期末売場面積(㎡)	47,728	48,304	49,189	47,222	46,976	48,928

会社概要

(2019年5月27日現在)

設立	1982(昭和57)年5月10日	役員	代表取締役会長	川端 敏
本社	〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号		代表取締役社長	桐生 宇優
資本金	6億4180万円		取締役 専務執行役員	山本 光治 (営業本部長)
代表者	代表取締役社長 桐生 宇優		取締役 常務執行役員	山川 浩文 (管理本部長)
従業員数	正社員 481名 パートタイマー 1,386名 (1人8時間換算 月平均) 2019年2月末日現在		取締役 執行役員	堀田 史朗 (新センター準備室長)
営業品目	生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・ 日用雑貨・米・酒		取締役 執行役員	嶋澤 賢治 (経理部長)
			取締役 執行役員	田中 寛密 (経営企画室長)
			取締役 役	吉田 周史 (社外取締役)
			常勤 監査 役	黒田 寿隆
			監査 役	堀 勝彦
			監査 役	宮脇 憲二 (社外監査役)
			監査 役	伊藤 光男 (社外監査役)
			執行 役員	猿渡 浩一 (総務部長)
			執行 役員	中瀬 美夫 (生鮮部長)
			執行 役員	斎藤 礼二 (遠軽店長)

沿革

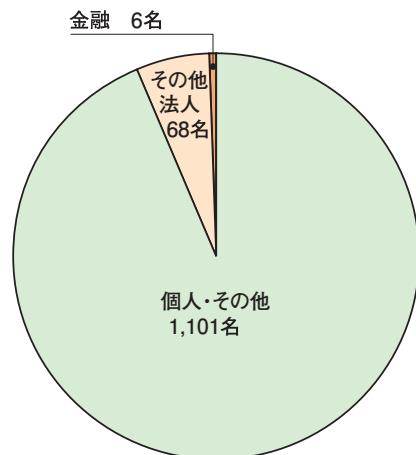
1971年 4月	食品の小売及び卸売を目的として、札幌市手稲西野(現 西区西野)に資本金6,000千円にて株式会社オレンジチェーンを設立。	2000年 3月	網走市駒場にシティあばしり店を開店。道東地区3店舗となる。同月、食品の安全性検査のため独自の商品検査室(現 安全衛生管理室)を設置。
1973年 4月	本社を札幌市西区山の手1条7丁目に移転。	2001年 3月	札幌市北區にラッキー新琴似四番通店を開店。
1974年 5月	商号を株式会社山の手ストアに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始。	2002年 3月	中川郡幕別町にラッキー衣料館礼内店を開店。
	同月、山の手店(現 ラッキー山の手店)をはじめ、5店舗の営業を開始。	2002年 4月	札幌市手稲区にラッキー星置駅前店を開店。
1975年 10月	札幌市東區に北49条店(現 ラッキー北49条店)を開店。以後、1982年5月までに札幌市内5店舗を開店。	2002年 10月	日本証券業協会に株式を店頭登録。
1976年 10月	札幌市豊平区(現 清田区)に清田店を開店。	2003年 4月	夕張郡長沼町にラッキー長沼店を開店。
1977年 12月	EOS(補充発注システム)を導入。	2003年 9月	札幌市西區にラッキー発寒店を開店。
1982年 5月	株式会社まるせんと合併すると同時に北雄ラッキー株式会社に商号変更。資本金151,000千円。同時に本社を札幌市中央区大通西23丁目291-1に移転。	2004年 5月	精肉・鮮魚商品を店舗へ供給する生鮮センターを稼働。
1984年 6月	本社を札幌市中央区宮の森3条1丁目1-25に移転。	2004年 6月	紋別市清沼にシティもんべつ店を開店。道東地区4店舗となる。
	同月、保険部門を設け、損害保険の代理店業務へ進出。	2005年 10月	稚内市新光町にシティわっかない店を開店。道北地区へ進出。
1988年 7月	小樽市新光町にラッキー朝里店を開店。小樽市へ進出。	2006年 3月	青果物・水産物を店舗へ配送する低温センターを稼働。
1989年 7月	本社を札幌市中央区北11条西19丁目36-35に移転。	2007年 7月	小樽市手宮にラッキー衣料館手宮店を開店。
1990年 3月	POS(販売時点情報管理)システムを導入。	2008年 9月	岩内郡岩内町にラッキー岩内店を開店。
1991年 10月	石狩町(現 石狩市)花川にラッキー花川南店を開店。	2011年 11月	函館市人見町にラッキー衣料館ひとみ店を開店。
1993年 9月	株式会社シティびほろと合併し、シティびほろ店を開店。道東地区へ進出。	2012年 9月	函館市美原にラッキー衣料館美原店を開店。
1994年 3月	千歳市錦町にラッキー千歳錦町店を開店。千歳市へ進出。	2013年 6月	本社を札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号に移転。(ラッキー星置駅前店に併設)
1994年 4月	紋別郡遠軽町にシティえんがる店を開店。道東地区2店舗となる。	2014年 3月	虻田郡倶知安町にラッキー倶知安店を開店。
1996年 3月	本格的にインスタペーカーを手かけ、以後各店へ導入。	2015年 7月	常呂郡調子府町にシティマートくんねっぷ店を開店。
1998年 3月	夕張郡栗山町にラッキー栗山店を開店。	2015年 7月	岩見沢市幌向にラッキーマート幌向店を開店。
		2016年 4月	網走郡大空町にシティマートめまんべつ店を開店。
		2017年 10月	紋別郡湧別町にシティマートなかゆうべつ店を開店。

株式の状況 (2019年2月28日現在) 東証JASDAQ(スタンダード):2747

発行済株式の総数 **1,264,640株**

期末株主総数 **1,175名** (前期比 35名減)

●所有者別株主数

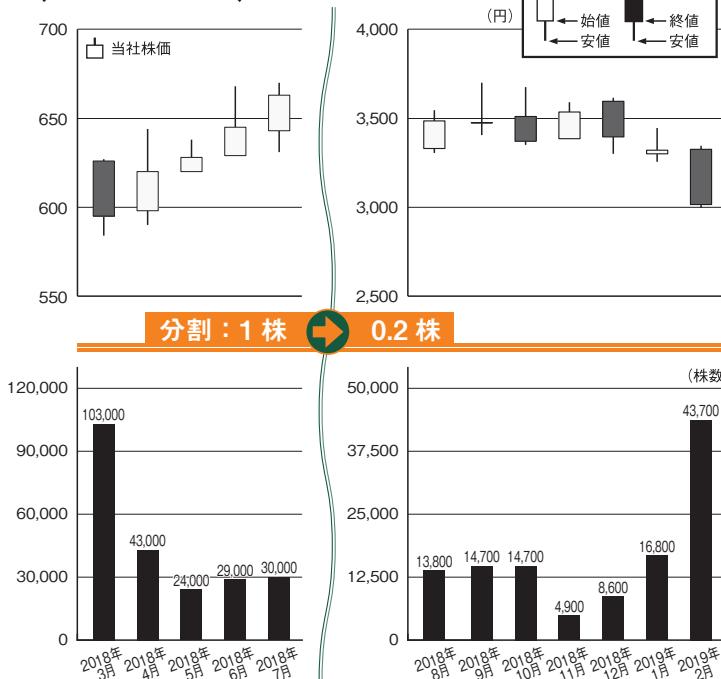


●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
桐生興産株式会社	290,300	22.96
横山 清	70,000	5.53
株式会社北洋銀行	62,000	4.90
田中 寛密	60,000	4.74
堀 勝彦	48,000	3.79
有限会社まるせん商事	34,000	2.68
株式会社北海道銀行	30,000	2.37
千葉 サカエ	27,600	2.18
ノースパシフィック株式会社	27,000	2.13
株式会社桐生商店	22,400	1.77

(注)出資比率は自己株式(610株)を控除して計算しております。

●当社株価・売買高の推移 (2018.3~2019.2)



※2018年9月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、普通株式5株を1株とする株式併合を実施したことにより、発行済株式総数が1,264,640株となっております。

LUCKY

株主メモ

決算期日	2月末日
株主総会	毎年5月
基準日	2月末日
	そのほか臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	剰余金の配当2月末日 中間配当を行う場合は8月31日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告掲載方法	電子公告により行います。
株主優待制度	株主優待制度として、毎年2月末日現在の100株以上ご保有の株主の皆様に対し、保有株式数に応じて以下のとおり株主優待贈呈品を年1回お届けいたします。

保有株式数	基準日	優待内容
100株以上200株未満	毎年2月末日	年1回、1,000円相当のJCBギフトカードを贈呈。
200株以上1,000株未満	毎年2月末日	年1回、5,000円相当のJCBギフトカードもしくは「北海道特産品」を贈呈。
1,000株以上	毎年2月末日	年1回、10,000円相当のJCBギフトカードもしくは「北海道特産品」を贈呈。

※2018年9月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

2019.2 第49期 報告書

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんので ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別 口座の場合」の郵便物送付先・電話お 問い合わせ先・各種手続お取扱店を ご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以 外の株式売買はできません。証券会社等に口 座を開設し、株式の振替手続を行っていただ く必要があります。

本報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しの上に全面的に依拠することは避けていただきますようお願い致します。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。